

インターバンクの声（2016年3月23日）

彼岸の連休明けに日経平均株価が大幅上昇となってもドル円は上昇せず、夕方にベルギーのブリュッセルの空港と地下鉄で同時爆発テロが起こったことが伝わると素早く円買い・ドル売りとなった。安全通貨だか何だか知らないが、去年の夏頃から何が起きても円買い・ドル売りになってしまうと感じてしまうのは被害妄想だろうか。最近にしても、散々講釈されていた原油価格が戻し始めたなら円売りになるとの見方や、米金利が上昇すればドル買いに動き出すとの見方も今のところほとんど実現していないような気がする。昨日も東京の早朝に112円を割れていれば大丈夫だろうと思って仕込んだドル・ロングが、結局利食いきれずに損切りさせられて一日が終わってしまったので12時前に早々と床に就いた。何のことはない、5時前に起きたら、その少し前のニューヨーク市場では112円中盤までドルが買われていたではないか。欧米株が底堅く動いたことや原油価格が持ち直したことで市場が落ち着き始めたらしいが、全くタイミングが悪いったらありやしない。今日は何となくドル売りから攻めたいが、さしたる理由もないのでここは少し自重すべきなのだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。